

供給案(最終決定)

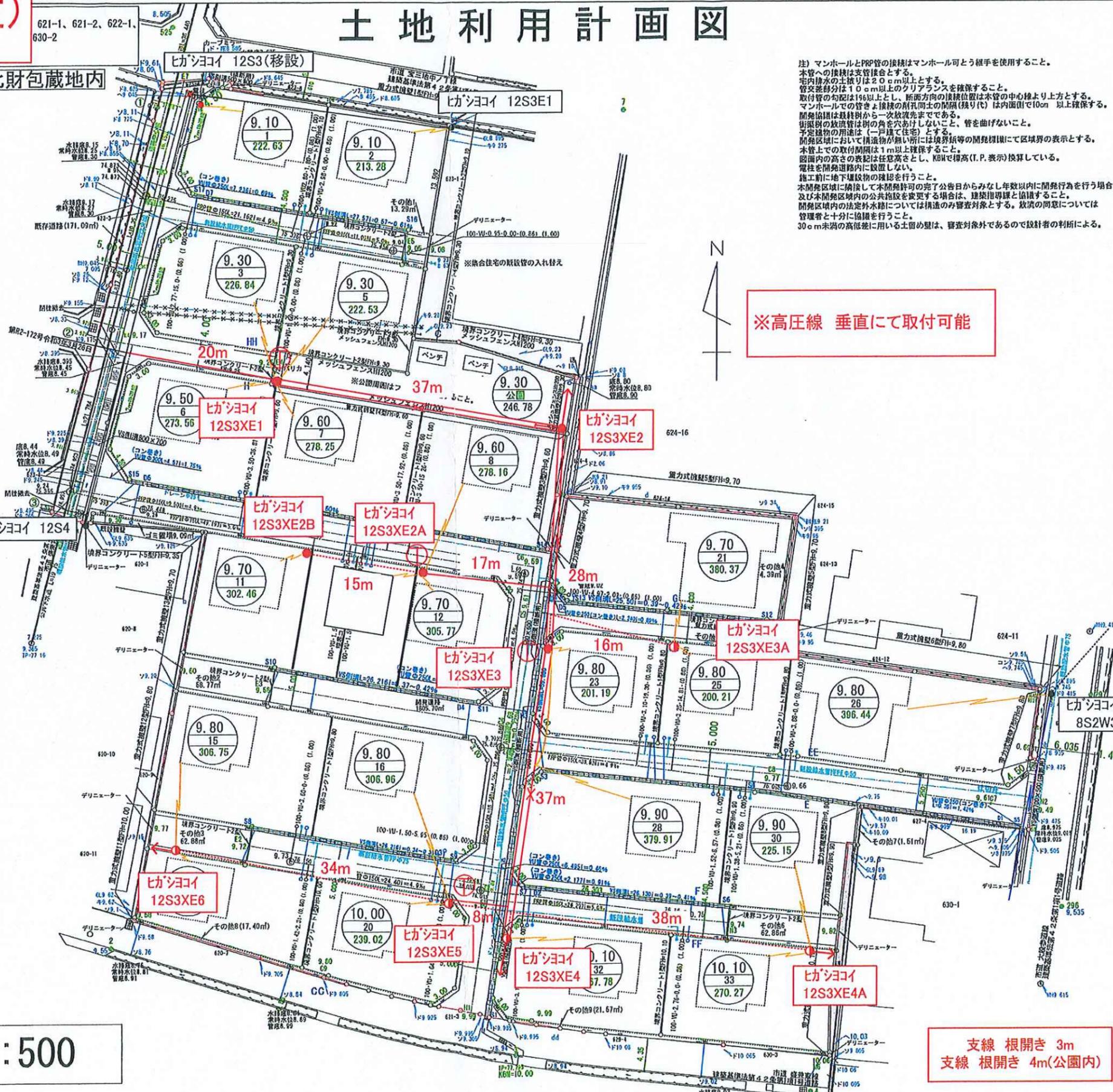
土地利用計画図

凡 例	
○	針高
□	区画番号
→	面積
→	流水方向
→	埋設15cm グレーチングT14
→	埋設管径150 196以上
→	L型側溝
○	公園は穴あき蓋を使用
○	埋設管径φ350 深さ0.9以下 VUφ150 i=1.94以上
○	土積り0.6m 以下、 コンクリート保護
○	給水管φ200 覆水層
○	水運管埋設φ50
○	1号マンホール T-14
○	PRP管φ150
○	埋設管径φ200 深さ1.0以下 VUφ100 i=1.94以上
○	土積り0.6m 以下、 コンクリート保護
○	開発区域界

開発道路	
A開発道路L=14.532m i=0.96%	N1~C1
A開発道路L=1.799m i=0.55%	G1~C2
A開発道路L=17.487m i=0.80%	C2~C3
A開発道路L=2.743m i=0.72%	C3~C4
A開発道路L=14.703m i=0.47%	G4~C5
A開発道路L=5.729m i=0.34%	C5~C6
A開発道路L=58.74m i=0.62%	C6~E1
B開発道路L=5.00m i=2.4%	N2~C7
B開発道路L=28.183m i=0.56%	C7~C8
B開発道路L=33.590m i=0.20%	C8~C3
C開発道路L=30.950m i=0.38%	C2~E2
D開発道路L=30.940m i=0.35%	N3~C1
E開発道路L=30.974m i=0.32%	C4~E3
F開発道路L=30.304m i=0.26%	C5~E8
G開発道路L=20.235m i=0.39%	N4~E4
H開発道路L=32.477m i=0.33%	N5~E5
I開発道路L=23.128m i=0.30%	N7~N4
I開発道路L=17.822m i=1.29%	N4~N5
I開発道路L=16.152m i=2.16%	N5~E7

●	電力電柱	→	支線
○	NTT電柱	→	架空支線
—	高圧線	→	引込線
---	低圧線	→	支柱
⊕	変圧器		

縮 尺 S=1:500



注) マンホールとPRP管の接続はマンホール可とう継手を使用すること。
 本管への接続は表向きとする。
 管内排水の土積りは20cm以上とする。
 管交差部分には10cm以上のクリアランスを確保すること。
 取付管の勾配は1%以上とし、断面方向の接続位置は本管の中心線より上方とする。
 マンホールでの管と接続の取付位置は内側(残り1%)は内側で10cm以上確保する。
 開発区域は敷地境界から一次放流先までである。
 街路樹の放流管は樹の角を穴あけしないこと、管を曲げないこと。
 予定建物の用途は(一戸建て住宅)とする。
 開発区域において埋設物が無い所には境界線等の開発区域にて区域界の表示とする。
 本管上での取付間隔は1m以上確保すること。
 図面内の高さの表記は任意高さとし、K0Mで標高(I.P.表示)換算している。
 電柱を埋設道路内に設置しない。
 施工前に地下埋設物の確認を行うこと。
 本開発区域に納換して本開発許可の完了公告日からみなし年数以内に開発行為を行う場合
 及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は、建築確認と協議すること。
 開発区域内の法定外水線については協議のみ審査対象とする。放流の同意については
 管理者と十分に協議を行うこと。
 30cm未満の高差差に用いる土留め型は、審査対象外であるので設計者の判断による。

開発許可
年 月 日

第 R 6 - 1 - 2 7 号
令和 6 年 6 月 18 日

申請者

アイラックホーム株式会社
代表取締役 増元 浩二

作成者
住所・氏名

高松市仏生山町甲2130番地1
土地家屋調査士
宅地建物取引士
二級建築士 岡野上 竜二

印